

越前市議会だより

第64号

令和3年(2021年)5月14日(金)

発行 編集 越前市議会

〒915-8530

福井県越前市府中一丁目13番7号

TEL:0778-22-3426

FAX:0778-23-3000

<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



庁舎前ひろばの現場を確認

災害時やイベント時の利用法を問いただす

令和元年11月の新庁舎竣工後、引き続き進められてきた庁舎前ひろば整備工事が3月末に完了し、4月14日に議員による現場確認を行いました。

ひろば兼駐車場は、イベントや災害時にも利用できるよう整備されています。議員からは、災害時の電源確保の方法や、イベント開催時のトイレ利用、閉庁時の駐車場利用等について、質問がなされ、担当課から説明を受けました。

今後は、平日も休日も賑わう庁舎として多くの市民に愛され、多様な市民の交流・憩いの場として利用されることが大いに期待されます。



駐車場のほか、芝生ひろば、噴水ひろばも整備されている

3月定例会の概要

令和3年越前市議会定例会は、2月19日から3月19日までの29日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和3年度一般会計予算案など予算案13件、越前市障がいの特性に応じた情報取得及びコミュニケーション9件、工事の請負契約など一般議案3件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、本会議最終日に、原案どおり可決されました。

また、越前市議会会議規則および越前市議会委員会条例等の一部改正について可決したほか、専決承認案1件を承認、教育委員会教育長および人権擁護委員に関する人事案4件に同意しました。

本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案審議
- 3面 ◆ 議案の議決結果
- 4～6面 ◆ 一般質問
- 6～7面 ◆ 議会活動報告・委員長報告
- 8面 ◆ 議会モニター報告



令和3年度 当初予算決まる

総額 606億644万8千円 (前年度比0.8%減)

一般会計	348億5,200万円 (前年度比0.8%減)
特別会計	172億4,734万7千円 (前年度比2.0%増)
企業会計	85億710万1千円 (前年度比6.0%減)

3月定例会 議案審議



その他の審議については、6月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

令和2年度3月補正予算審議

■ 新年度も切れ目なくコロナ対策を実施

問 国の第3次補正に対応するため、ハード整備およびコロナ対策等の事業について、3月補正予算に計上し、新年度に繰り越すとのことだが、新年度の予算は実質いくらになるのか。

答 令和3年度当初予算の一般会計348億5200万円に、3月補正予算に計上した前倒しの建設事業と新型コロナウイルス感染症対策事業を加えると、365億1541万円となり、前年度比4.0%増の積極型予算となる。

■ 新たにレンタカー利用者への助成を追加

観光誘客促進業務委託料

3850万円

問 令和2年度に実施した、団体バスツアーの助成、体験クーポン券およびタクシー利用促進券の発行に加え、令和3年度はレンタカー利用者に対する助成を実施することのことが、令和2年度の事業の検証を行ったのか。

答 団体客向けのバスツアー助成については、市内のバス会社利用に効果があった。タクシー利用促進券や体験クーポン券も多くの方に利用いただき、利用者減の回復に貢献できたものと考えている。



市内体験施設のクーポン券を発行

問 利用した市民からは、良い評価を聞いているが、事業を知らなかったという市民もいる。その理由として、チラシが関係施

設や観光案内所にしか置いておらず、市民への周知が足りなかったのではないかと。

答 令和3年度は、新聞広告で全世帯にお知らせするほか、公民館等の市内公共施設にもチラシを配布し、事業をPRしていきたい。

令和3年度一般会計当初予算審議

■ 第70回たけふ菊人形に向けて

屋内催事場整備費

「継続費」4億2480万円
うち令和3年度分 2億5488万円

問 催事での使用期間外に公園利用者の無料休憩所として開放する際、子どもの利用が考えられるため、管理人の常駐や防犯カメラ設置の考えは。

答 令和3年度は武生中央公園の巡回とあわせて管理していく予定であり、管理人の常駐は考えていない。防犯カメラの設置については検討していきたい。



屋内催事場イメージ図

問 乳幼児連れの親子も利用できるよう授乳室設置の考えは。

答 現在、武生中央公園内には管理事務所横、市中央図書館、かみなりちゃんのおうち、AWIスポーツアリーナの4か所に授乳室を設置している。屋内催事場の利用者を含め武生中央公園の利用者に対し授乳室の分かりやすい案内に努めていく。

■ 世帯年収の上限を撤廃

在宅育児応援手当

1536万円

問 新年度から条件が緩和されたことだが、その内容は。

答 本市では、現行の県「子どもさん福井プロジェクト」の世帯収入360万円の上限額を撤廃し、育児休業給付金の有無にかかわらず第2子以降の満1歳の子どもを対象に満2歳に至るまで在宅育児応援手当月額1万円を支給するものである。

これにより待機児童の解消および育児休業の取得、さらに2人以上の子どもを在宅育児する世帯への経済的な負担軽減につながるものと考えている。

問 対象となる市民への周知方法は。

答 ホームページや広報紙での周知のほか、妊娠届けや出生届の手續の際に案内チラシ等配付する。また、対象者は保育所などの利用がなく、育児不安を抱えていることが懸念されるため、在宅育児を応援するサービスを含め、地域子育て支援センター等関係機関を紹介し、育児不安の解消を図っていききたい。

■ 花筐公民館移転に向けて

地区公民館 施設整備設計等業務委託料

2633万8千円

問 花筐公民館の移転工事実施設計委託料および移転予定地の地質調査委託料等を計上しているとのことだが、移転について市公共施設等総合管理計画との整合性はあるのか。

答 市公共施設等総合管理計画を上位計画とする市教育施設等長寿命化方針では、危険箇所を立地している施設は現地での改修を行わず、移転改築することとし、他施設との複合化や集約化、相互利用を必須としている。小学校、地区公民館、児童館などを複合化することで学舎融合や放課後子ども教室と放課後児童クラブとの一体化などが推進される。

花筐公民館はレッドゾーン、隣の児童館はイエローゾーンに立地していることから、公民館と児童館を複合し安全な場所に移転する提案を行い、地元理解を得ている。

■ 専門業者の高い技術力を活用

道路施設等維持管理包括委託料

4800万円

問 事業の内容は。

答 市道施設や河川施設の巡回パトロール、道路舗装の穴埋めや段差解消などの路面補修、道路の植樹ますや路肩ならびに河川の管理通路などの草刈り、除草剤の散布、街路樹や支障木の簡易剪定など、令和2年度までは市直営で行っていた業務を令和3～5年度を包括委託するものである。



道路整備の様子

問 市民から穴が空いた生活道路があるとの声がある。幹線道路など、頻繁に利用される道路以外の小さい道路などにも対応されるのか。

答 対象は市道全部となる。一、二級路線を中心に週1回のパトロールを義務付けているが、市民からの通報等も受ける中で、管理していきたい。

問 地元からの要望にも委託業者は対応してくれるのか。

答 各地区、各町内からの要望や問い合わせは、従来とおり市で受け付けし、受託業者にて対応できる内容のものは、市から受託業者に速やかに指示を行っていく予定である。

令和3年度企業会計当初予算審議

市水道事業会計

■ 県水供給単価の低減を反映

26億6183万3千円

問 県水の供給単価が97円から90円に低減されると聞いたが、予算にどのように反映しているのか。

答 県水の供給低減の案を受け、市費となる受水費用の低減について反映をしている。収入となる水道料金の低減については、来年度早々から検討を行う予定であり、予算は現在の水道料金にて算定をしている。

議案の議決結果

令和3年3月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果	議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第2号	令和2年度越前市一般会計補正予算(第15号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)	議案第18号	越前市介護保険条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第3号	令和2年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	教育厚生	可決(全員)	議案第19号	越前市中小企業等経営安定対策利子補給基金条例の制定について	産業建設	可決(全員)
議案第4号	令和2年度越前市介護保険特別会計補正予算(第3号)	教育厚生	可決(全員)	議案第20号	北陸新幹線新駅周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	産業建設	可決(全員)
議案第5号	令和2年度越前市水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)	議案第21号	越前市都市公園条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第6号	令和2年度越前市下水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)	議案第22号	越前市住みよい街づくり推進条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第7号	令和3年度越前市一般会計予算	総務 教育厚生 産業建設	可決(多数)	議案第23号	工事の請負契約について	産業建設	可決(全員)
議案第8号	令和3年度越前市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決(全員)	議案第24号	市道路線の変更について	産業建設	可決(全員)
議案第9号	令和3年度越前市介護保険特別会計予算	教育厚生	可決(全員)	議案第25号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度越前市一般会計補正予算(第14号))		承認(全員)
議案第10号	令和3年度越前市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決(全員)	議案第26号	越前市議会会議規則の一部改正について		可決(全員)
議案第11号	令和3年度越前市水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)	議案第27号	越前市議会委員会条例等の一部改正について		可決(全員)
議案第12号	令和3年度越前市工業用水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)	議案第28号	財産の取得について	教育厚生	可決(全員)
議案第13号	令和3年度越前市下水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)	議案第29号	令和2年度越前市一般会計補正予算(第16号)	総務 産業建設	可決(全員)
議案第14号	越前市庁舎建設基金条例の廃止について	総務	可決(全員)	議案第30号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第15号	越前市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	総務	可決(全員)	議案第31号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第16号	越前市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	総務	可決(全員)	議案第32号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第17号	越前市障がいの特性に応じた情報取得及びコミュニケーション条例の制定について	教育厚生	可決(全員)	議案第33号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：○、反対：×、欠席：欠)

議案	賛 否																					
	会派 創至					市民ネットワーク			誠和会(自民)			政新会			共産		末馬会		諸	諸	諸	
	中西昭雄	清水一徳	吉村美幸	題佛臣一	小形善信	砂田竜一	小玉俊一	吉田啓三	大久保健一	川崎俊之	前田一博	片粕正二郎	安立里美	川崎悟司	城戸茂夫	加藤吉則	前田修治	近藤光広	橋本弥登志	桶谷耕一	三田村輝士	大久保恵子
令和3年度越前市一般会計予算(可決)	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○

(注) 議長は採決には加わっていません。 共産：日本共産党議員団 諸：諸派



手話で「賛成」を表す議員

手話で採決を実施

「越前市障がいの特性に応じた情報取得及びコミュニケーション条例」制定の採決の際には、障害のある人が安心して地域生活を営むことができる社会の実現に向けて、全議員が手話で「賛成」を表し、全会一致で可決されました。



3月定例会で採決された人事

教育委員会教育長の任命に同意

澤崎秀之氏(姫川二丁目)

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

山本隆徳氏(庄田町)

上道英夫氏(柳元町)

細川きよえ氏(沢町)

3月定例会 一般質問

3月定例会では、18人の議員が3月1日～3日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

公共交通

並行在来線における新駅設置の可能性は

問 並行在来線の駅設置の可能性調査の進捗と、現在の検討状況は。
答 武生・王子保駅間の新駅候補地は旧南交番付近、利用者数は一日286人を見込んでいる。新駅設置は、県教育委員会が進める県立高校の再編による武生商工高校のキャンパス集約が前提となっている。施設の規模や財政支援など県が主体的に取り組みべきと考えており、市と県、並行在来線準備会社の3者で協議し設置の可否を判断していく。

他の質問項目
・公営住宅の長寿命化について



政新会 川崎 悟司

教育

学校給食を無償化せよ

問 本市の小学生4146人のうち、約10%に当たる441人が経済的理由により就学援助の対象となっている。既に全国では76の自治体が、学校給食を無償化している。義務教育の中において、本市もまず小学校給食の無償化に取り組んで欲しい。
答 本市では学校給食法に基づいて学校給食を運営しており、法には食材費は保護者負担とするよう規定されている。経済的理由により就学が困難な方には必要な支援を行っており、引き続き法に基づいた運営を行っていく。

他の質問項目
・生活困窮者対策
・環境政策について



諸派 大久保恵子

難聴児の教育体制を拡充せよ

問 本市学校において、障害のある子どもの多様性を尊重し、保護者や子ども自身が安心してできる配慮を今後もしっかりと行うよう要望するが、市教育委員会の考えは。
答 障害のある子どもについて、その多様性を尊重し、インクルーシブ教育の理念を踏まえ、本人や保護者と合意形成を図りながら、一人一人の教育的ニーズに応じた支援や指導に取り組みしていく。

他の質問項目
・公立認定こども園整備方針について



市民ネットワーク 砂田 竜一

コロナ対応

一人暮らし高齢者へのワクチン接種体制は

問 コロナワクチン接種はあくまでも個人の自由意志で行われるべきだが、市内約4千人の一人暮らし高齢者で接種希望者がもれなくワクチン接種ができる体制は確立できるのか。
答 集団接種会場には希望によりバスでの送迎を検討しており、在宅の寝たきり高齢者には、かかりつけの往診医による巡回接種を予定している。また、地域包括支援センターなどが接種に関する個別支援を行うべく。

他の質問項目
・国保の均等割が軽減されるが、子育て世代にさらなる軽減策を
・コミュニティバスなど、地域公共交通の利便性を高めることについて



日本共産党議員団 前田 修治

南越駅(仮称)周辺まちづくり

官民連携プロジェクトとは

問 本市の官民連携プロジェクトにおける民間事業者の役割や権限、責任とは。
答 開発手法、事業費の捻出、開発後の企業誘致も含めて、民間事業者と市、地元が連携して取り組むプロジェクトである。事業者選定後、相互の役割を明確にする協定を締結するが、基本的に市の代行事業者として、事業主体を民間事業者が担うことになる。



政新会 城戸 茂夫

越前市版スマートシティ&フォレストシティについて

問 このエリアを越前市版スマートシティ&フォレストシティと位置付けているが、今後の官民連携プロジェクトにかかる企業募集において、全国区の競合はないか。また、スーパーシティの指定は目指さないのか。
答 全国での取組数や競合については不明だが、内閣府が公募したスーパーシティ構想の自治体アイデアは57件あり、本市のような完全新規開発型は5件の提出がある。今後、エリアの付加価値をさらに高めるため、スーパーシティに限らず特区申請も視野に入れ、取り組んでいきたい。



末馬会 近藤 光広

他の質問項目

・中心市街地等の今後の在り方
・防災マップの活用その他災害危機管理について

企業誘致にかかる展望を示せ

問 南越駅(仮称)周辺について企業誘致のコアとなる企業は進出するのか。また、複数のコア企業の進出も可能か。
答 「先端テクノロジ」と「環境・エネルギー領域」でのコア企業となり得る県外企業に対して、引き続き、環境・エネルギー領域における本市が目指す姿を丁寧に説明し、実現を目指してAPB株式会社をはじめ複数のコア企業の確実な立地に向け、積極的な誘致活動を行っていきたい。



市民ネットワーク 吉田 啓三

他の質問項目

・人口減少・定住化問題について

南越駅(仮称)周辺の農業支援について

問 南越駅(仮称)周辺の農業従事者への支援をせよ。
答 南越駅(仮称)周辺3町内では農業法人と集落営農組合の3経営体が個人農家と共存しながら各集落の営農を担っており、本市の農業施策に沿った営農活動を行っている。今回の開発による農地の縮小等により農業経営に支障が出ないよう関係機関と連携を図り、今後とも地域の実情や個々の営農規模に応じた支援を行っていききたい。



誠和会(自民) 川崎 俊之

他の質問項目
・ワクチン接種体制について
・並行在来線開業のスケジュール見直しについて

※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために行う質問のことをいいます。

福祉

生活保護申請の現状と課題は

「漏給」といわれている現状をどのように分析するか。漏給とは制度の適用に際し、必要な条件を全て満たしている者が保護されていないことである。本市では給付や取り下げの申請があった場合、自立の目的を総合的に調査した上で受理している。また、保護開始後も一方的な打ち切りはしないことを徹底している。

他の質問項目
・国会で厚労大臣の扶養照会についての答弁に対する市の見解は
・本市の生活扶助費の基準額は



日本共産党議員団 加藤 吉則

医療的ケア児やその家族への支援を充実させよ

医療的ケアに伴い、医療的ケアを受けながら通園、通学および在宅学習する子どもが増えている。さまざまな支援が必要だが、その現状は。また家族や子ども自身の意見は入っているか。

他の質問項目
・校則の在り方と見直しについて
・今後のひきこもり対策の在り方について



政新会 安立 里美

老人福祉センター今寿苑について

各地域において高齢者がゆつくりと集う場所を整備すべきである。今立地区民にとって入浴施設は必要であり、一方的に無くすのは理解できないが、市の考えは。

他の質問項目
・半世紀に一度のまちづくりについて
・服部川の改修について



誠和会(自民) 前田 一博

地域共生社会の実現を目指せ

8050世帯や介護と育児のダブルケアなど、個人や世帯が抱える課題を支援するため「断らない相談支援」を行う包括的な相談窓口の設置は、どうなっているのか。

他の質問項目
・国土強靱化推進計画について
・脱炭素社会の推進について



諸派 おけたに 桶谷 耕一

DV等による一時保護体制は

コロナ禍による相談件数が増える中、DV等の被害者を一時保護ができて民間シェルターの必要性が求められるが、市の考えは。民間シェルターの無い本市では、福祉事務所において、家庭相談員や生活保護ケースワーカーなどが連携し、被害者の保護や支援に努めている。今後も既存の社会資源を活用しながら、本年4月からは子ども子育て総合相談室に専任の女性相談員を配置し、相談支援体制の充実を図っていく。

他の質問項目
・発達障害者への今後の支援体制の考えについて
・LGBTに関する市の考えと相談体制について



会派創生 題佛 臣一

福祉

SDGsを浸透させよ

市職員にもSDGsを浸透させる必要があると考え、本市ではどのような取り組みを行っているか。

他の質問項目
・地域ボランティアの現状と展望について



市民ネットワーク 小玉 俊一

SDGs

市総合計画等達成度について

市内産業に対する人材確保と外国人の定住化に向けた地元企業への就職を進める取り組みは。また、中心市街地のハード整備および市道等基盤整備の市単独年間予算規模は。

他の質問項目
・保育士の確保はどのように考えているか
・市長マニフェストについて



会派創生 中西 昭雄

総合計画達成度

環境基本計画について

今回の計画改定の意義は。また、市の二酸化炭素排出量は増加しているが、今後、どのように取り組むのか。

他の質問項目
・国が2050年までに脱炭素社会の実現を目指すとしている等、新たな課題に対応する必要がある。市の排出量については、特に産業部門の増加が顕著なため、数値目標を定めて取り組む。また、2050年、二酸化炭素実質排出ゼロを目指すことを宣言していきたい。



未馬会 橋本 弥登志

環境

議員間の自由な議論を実施

議員協議会

越前市議会では、議会活性化の取り組みの一環として、市政に関する重要な政策および課題その他議会の活動について、共通認識および合意形成を図るための議員協議会を積極的に開催しており、議員同士の自由な議論を行っています。2～4月に実施した内容を紹介します。

2月10日(水)

◆議会活性化特別委員会での検討状況について

議会活性化特別委員会で検討中の課題に関し、議員間で意見集約を図る。

3月23日(火)

◆南越駅(仮称)周辺まちづくりについて

担当課から今後の進め方を確認し、地元の意見を聞きながら進めてほしいとの要望を伝える。

◆市民と議会との語る会の総括について

語る会にて市民より徴集した意見を議員間で共有し、意見を交換。

4月14日(水)

◆審議会等の報告について

各種審議会委員の議員より審議会の報告を行い、質疑応答を通して議員間で共有。

◆議会モニターの意見について

議員間で共有するとともに、今後のモニターの増員やモニター会議開催方法等を議論。

4月27日(火)

◆オンライン委員会開催に伴う条例等の改正について

議会活性化特別委員会で協議してきた内容を議員間で協議。



3月定例会 一般質問

産業活性化

県への重要要望と産業活性化について

問 県HPによると、杉本福井県知事は、令和2年3月に、全樹脂電池を製造するAPB株式会社を、県職員も一緒に「一生懸命誘致を進めてきた」とある。その結果、本市への進出となったが、県へ関連事項を重要要望としていたその経過は。

答 県は、「嶺南Eコースト計画」を策定し、さまざまなエネルギーを活用した活性化やまちづくりを目指している。また、スマートエネルギーエリア創設を目指していることから、本市に進出するAPB株式会社の定置型蓄電池の活用を要望した。

他の質問項目

- ・インクルーシブ公園について
- ・オンデマンド交通について



会派創全
小形 善信

自治振興事業

地域自治振興事業交付金の在り方は

問 地域自治振興事業交付金の算定について、地域規模によらず、事業の積算による算定方式とする考えはないのか。

答 毎年3月に各自治振興会に対し次年度の交付金限度額を内示し、その範囲内で予算を積み上げ、新年度に交付申請を受けている。通常の交付金の対象とならない地域特性を生かす事業は、特別事業交付金として、審査会を経て交付している。今後も、交付金の在り方等、自治連合会と共に研究していく。

他の質問項目

- ・伝統工芸品産地振興事業の経過と成果
- ・産業観光を中心としたインバウンド事業内容と活用



会派創全
清水 一徳

特別委員会活動報告

議会活性化特別委員会

市議会基本条例の改正案を作成

1月15日、3月16日および4月19日に開催し、これまでの検討内容、および議員研修会、議員協議会での各議員からの意見をもとに、市議会基本条例の改正案を作成し検討を行いました。

市議会基本条例の見直しに伴い、市総合計画の基本構想となる部分の策定や変更、廃止についてを議会の議決案件とするべきかどうか、議員の政治倫理としての人権侵害の位置付けなどを協議しました。

また、委員会をオンラインで開催するための課題や方向性について、意見交換を行うとともに、実施に向けた会議規則等の改正を行うこと

で合意しました。今後とも議会活性化に向け、研修会や市民との意見交換等を通して、調査研究を重ねていきます。



改正案について議論

公共交通対策特別委員会

タクシー事業の現状を研究

3月15日の委員会では、福井県タクシー協会副会長および丹南支部長である市内のタクシー事業者の方から、越前市のタクシー事業の現状についてお話を伺いました。タクシー事業においては、法令により、運送できる区域が決まっていたり、準特定地域に指定されると一旦減らした保有車両数を増やせなかったりと、規制が多い状況の中、ドライバーの人材不足や高齢化、さらにコロナ禍での収入減等、多くの課題

に直面しています。このため近年は、配車の予約対応や、駅での待機への配車、深夜の営業などが、困難な状況にあるとの説明がありました。

しかし、朝から高齢者の通院や、買い物での利用が多いということ、また大雪の際に、鉄道やバスが運休する中でも、タクシーは急を要する乗客を輸送し、感謝されることも多いというお話を伺い、タクシーは鉄道やバスと並ぶ重要な地域公共交通の手段であることを再認識しました。

また、最近では、GPSでの車両管理や、クレジットカード決済等、ITシステムの導入にも取り組まれ、経営の効率化にも努力されています。

今後は、公共交通空白地域をなくすデマンドタクシーや乗合タクシーが公共交通の主流となっていくのではないかと、そして事業者同士や地域が連携・補完しながら、運行を続けていくことが重要であるとのご意見を伺いました。

その後、観光交流推進課から、令和2年度に2回実施したオンデマンドバスの実証実験結果や、タクシー利用促進のため、市内観光施設間の移動に使用できる定額タクシーチケットの発行事業について、説明がなされました。

委員からは、デマンド型乗合タクシーは、過疎地だけでなく、まちなかでも必要とする方は多くいると思われる。また市内観光に利用できるタクシー利用促進券の発行等の事業について、市外への広報はもちろん、市内での広報も重要である、等の意見がなされました。



タクシー事業者からの説明を聞く

常任委員会委員長報告から

3月5日、8、12日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査を行いました。本会議最終日に行われた委員長報告から、令和3年度一般会計予算の審査結果報告の一部を紹介します。

委員長報告全文は6月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム 検索

総務委員会

市の新たなPR方法を研究せよ

問 広報費について、令和3年度、新たな取り組みはあるか。

答 事業内容が大きく変わるものはないが、市広報紙については、全ページフルカラー刷りに変更するほか、今年1月から企画制作の委託業者が変わったこともあり、より見やすく親しんでいただける広報となるよう工夫しているところである。

問 市民からは、市のPRが足りないのではないかと声も聞く。何か新しい取り組みを期待するが、SNSや動画サイトを活用した取り組みについてはどう考えているのか。

答 現在SNSや越前市情報アプリ「えっつぶ」などを活用しているが、課題として、市民が情報発信ツールなどを登録しないと、情報が取得できないという点がある。市の情報を適時提供できるような方法がないか、事業者にも相談しながら、研究していきたい。



市からの様々なお知らせが届くアプリ「えっつぶ」

タブレット導入による印刷費の削減効果は

問 本市でのタブレットの導入は、印刷製本費を抑えるという目的もあったと思うが、予算策定にあたり、紙の削減についてはどのくらい反映されているのか。

答 タブレット導入から4年近く経つが導入前に比べ、議会で配布する紙資料や職員の会議資料が大きく削減された。各種計画についても、以前は1000冊、200冊単位で印刷していたが、現在は極力削減している。国・県などへ提出する要望書や、予算書、決算書等、タブレットでは閲覧しにくい厚みのある資料等については、印刷製本費を予算計上しているが、今後のIT化の状況を見ながら、適切な閲覧システムの開発が進めば、順次対応を進めていきたいと考えている。



会議資料はタブレットで閲覧している

教育厚生委員会

マイナンバーカードの新たな交付窓口整備の目的は

問 新しく交付窓口を整備することだが、流れや役割はどのようになっているのか。

答 本人から申請をいただき、高齢者にも負担となる申請書の記入、写真の貼付については、負担軽減と密を避けるためにもサポート業務として委託している。申請後は、交付台帳を整備し、後日交付となるが、本庁舎1階では混雑が予想されることから、6月から3階の特設会場で交付することになる。



現在のマイナンバーカード交付窓口

問 令和7年度末までに全市民の取得を目指すとのことだが、マイナンバーカードの取得は任意でありながら、マイナンバーカードがないとさまざまなサービスが受けられない状況が作り出されつつあり、カード所有の有無で行政サービスに格差が出るのではないかと懸念している。

答 今後もマイナンバーカードの有無により行政サービスが受けられないということはない。国は令和4年度までに全国民がマイナンバーカードを取得するという目標を掲げているが、申請を受け付ける現場では現実的ではなく、市独自に令和7年度末までを目標としている。マイナンバーカードについては、他のカードと同様、利便性、効率性、経済性が大きいと市民が判断され申請されているものと考えている。

授業でのタブレット使用に支障はないか

問 タブレット端末を使用することについて、教員への研修はどのように行うのか。

答 各学校で学習会を開催する予定になっており、その中で効果的な使い方を探ってもらうことになる。また、新しい学習支援ソフトは従来使用していたものに似たソフトを入れてるので、使用に支障はないものと考えている。

問 全員がタブレット端末を使用するようになると、使用方法が分からない子どもが出てくるのではないかと、その対応はできるのか。

答 既に5人に1台の割合で使用しているため、触るだけで分かる段階にあり、マニュアルを読まなくても直感的に分かるようなソフトを教員と一緒に選んでいるので、問題はないものと考えている。

産業建設委員会

スマート農業を推進せよ

問 全国的にスマート農業という言葉が流行っており、県内でも取り組んでいるところがあると聞いている。現在、市でも農地を集積する担い手はあるが、高齢化しており、これを推進する考えはないのか。

答 各種部会や研修の場において、従事者の方に働きかけているところである。また、中山間営農継続支援事業の一環として、ラジコンを利用した草刈や、ドローンによる農薬散布など、スマート農業の一つとして、県の補助を受けながら、一歩ずつ進めているところである。



農薬散布に使用されているドローン

問 スマート農業について、若者の農業従事に向けたアピールにもなると思うが、関係機関と協力し、研究会を立ち上げるといった考えはないのか。

答 県の方で、園芸のスマート農業に力を入れており、昨年、丹南を含んだスマート農業に関する協議会が立ち上がった。電気料金が低廉な県の特性を生かし、大規模なスマート農業を施策として、県が推進していることから、それとあわせて検討していきたい。

南越前周辺プロジェクトの十分な説明を

問 行政だけが先行し、市民が付いて行っていないような印象を受けているが、その心配については、どのように考えているか。

答 議会への説明後、地元説明に入り、5町内の区長や区の役員と話をする中で、改めてプロジェクトやオープンイノベーションの概要について、説明したところである。今回、サウンディング調査が入ることについて、了解を得るべく説明をし、事業者との協議内容等についても、しっかりとフォローしていく旨の話をしたところ。特に異論や反発を受けることはなかった。事業内容等について、周知が足りないという声もあったところからすると、一歩進んだのではないかと考えている。

◆産業建設委員会での付帯決議◆

令和3年度越前市一般会計予算に計上された企業誘致事業の官民連携プロジェクト推進支援業務委託料について、本事業は市の将来を左右するものである。しかしながら、現状は行政が先行しており、官民連携プロジェクトの主旨と照らし合わせ、地元住民、市民に対する説明を十分にするため、次のことを遵守すること。

- ①官民連携プロジェクト推進支援業務委託者の調査事業プロセスを逐次、地域住民をはじめとする市民に公表すること
- ②地域住民をはじめとする市民、市、調査業務受託者、サウンディング調査対象事業者の連携を密にすること

議会モニター 1年を終えて

令和2年度の議会モニター会議では、各定例会ごとの会議に加え、11月に議会活性化特別委員会委員との意見交換、2月にその他の議員との意見交換を行いました。1年を通して、議会モニターの皆さんからいただいた意見の一部を紹介します。

本会議・委員会の傍聴

- 一般質問や質疑など内容をまとめきれずに終わってしまう議員もあり、議論が深まっていない感じがした。
- 一般質問では、会派内で質問内容の調整を行い、住民本位の立場で深く追及するような内容にすべきと感じた。
- 資料を掲示する際には、文字を大きく表示するなど分かりやすい工夫をしており、理解しやすく、とてもよかった。
- カタカナ語が多く理解しにくい。カッコ書きで日本語表記もお願いしたい。

議員との意見交換

- 意見交換会で出た内容を、一般質問に取り入れてもらえてよかったが、もっと深掘りして追及してもらえるとさらによかった。

議会モニター制度

- 議会モニターがいることで、議会が活性化しているのが良い制度だと思う。
- 若い人がモニターとして参加してもらえるとよいのではないかな。
- 働いているので、モニター会議の開催時間を、日中ばかりでなく夜の時間帯にするともう少し参加しやすくなる。
- 団体推薦も多様な団体から選出するとういのではないかな。もっと数を増やしてもよいのではないかな。



議員との意見交換

市民と議会との語る会

- コロナ禍の中で人数制限や短時間での開催だったが、例年行われていた少人数単位での意見交換の場はいろいろな意見が出てくるので、次回は実施できるよう、在り方を見直してほしい。

政務活動費

- 政務活動費を今年度はコロナの影響で減額したが、視察研修だけが政務活動費の使い道でなく、このような状況だからこそしっかりと政務活動費を使って勉強するべきではないかな。

議員報酬

- 議員報酬だけでは生活することができず、なり手不足は解消できない。若い人が議員を志すことができるようにしっかりと議員報酬を上げ、議員活動に専念できるだけの報酬の支給に向けて見直しを行うべきではないかな。また、報酬に見合うだけの議員活動はしっかりと行い、それを議会モニターがちゃんとチェックする体制づくりを整えるべき。

議会モニターからの意見による改善例

令和2年度、モニターからの意見により改善された具体例を紹介します。

【意見】6月定例会はコロナ対策で時間短縮や出席者の制限がされたが、議会のチェック機能が制限されるため、長時間の審議ができるようアクリル板を設置するなどして通常の議会運営ができるよう見直すべき。

【改善】9月定例会より、アクリル板を設置し、質問時間等は通常に戻して実施。

【意見】本会議で「暫時休憩」と宣言してから、再開するまでの時間の目安が分かるように。

【改善】休憩中に行われる委員会等によって、再開時間を明示できない状況もあるが、再開時間が確定次第、表示するよう対応。

? モニター制度とは?

議会への市民参加を推進する取り組みの一環として、市民の意見を議会活動に反映できるよう議会運営に対する要望やご意見をいただくために平成28年に導入されました。

令和2年度の議会モニターの皆様

- 加藤のぶ子(公募)
 - 須磨美佐子(公募)
 - 玉川 忠春(連合福井丹南地域協議会推薦)
 - 土本 俊三(越前たけふ農業協同組合推薦)
 - 蜂谷 雄次(武生青年会議所推薦)
 - 林 忠男(越前市いきいきシニアクラブ推薦)
 - 福岡 忠則(越前市商工会推薦)
 - 福島 宏(越前市自治連合会推薦)
 - 藤 光真(越前市社会福祉協議会推薦)
 - 松永 恵美(越前市女性会推薦)
 - 横山 光(公募)
 - 鷺田 文枝(武生商工会議所推薦)
- (五十音順・敬称略)

議会モニターのみならず、1年間ご協力ありがとうございました。

6月定例会日程(予定)

月日	時間	会議名	丹南ケーブルテレビ再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
6月11日(金)	午前10時	本会議(提案理由説明)	6月14日(月)午後6時
16日(水)	午前10時	本会議(質疑)	6月23日(水)午後6時
17日(木)	午前10時	本会議(一般質問)	6月24日(木)午後6時
18日(金)	午前10時	本会議(一般質問)	6月25日(金)午後6時
21日(月)	午前10時	本会議(一般質問)	6月28日(月)午後6時
22日(火)	午前10時	本会議(一般質問 予備日)	6月29日(火)午後6時
23日(水)	午前10時	教育厚生委員会	
24日(木)	午前10時	産業建設委員会	
25日(金)	午前10時	総務委員会	
28日(月)	午後1時30分	公共交通対策特別委員会	
30日(水)	午後1時	議会運営委員会	
7月2日(金)	午後2時	本会議 (委員会審査結果報告、 質疑、討論、採決)	7月5日(月)午後6時

本会議や 委員会の 傍聴ができます

傍聴をご希望の方は、市役所西棟3階の議場傍聴席入口横の受付(委員会傍聴の場合は各委員会室入口)までお越しください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、間隔を空けて着席いただいております。

- ◆お子さま連れや車いすでも傍聴いただけます。
- ◆手話通訳をご希望の方は、傍聴希望日の10日前までに、議会事務局まで申請をお願いします。
- ◆本会議は、丹南ケーブルテレビや、インターネット、スマートフォンでもご覧いただけます。

